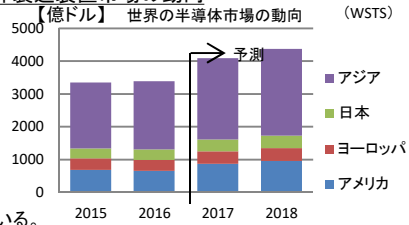


# いわて半導体関連産業集積促進協議会 第3期取組方針

## 1 世界の半導体市場及び半導体製造装置市場の動向

■世界の半導体市場の動向  
 ○世界主要地域の景況感の改善に加え、電子機器全般における半導体需要の拡大が見込まれることから、成長が継続することが見込まれる。  
 (世界半導体市場統計(WSTS))  
 ○世界半導体市場統計(WSTS:World Semiconductor Trade Statistics)によれば、2016年の世界半導体市場は前年比で1.1%成長し、3389億米ドルとなり、過去最高を記録した。2017年は、2016年比20.6%増となる4,087億米ドル。2018年は、2017年比で7.0%増となる4,373億米ドルと予測している。  
 2017年は、電子機器全般における半導体需要の拡大、特にメモリ市場の大幅な拡大がみられると、WSTSは予測している。地域別についても、米州、欧州、日本、アジア太平洋の全ての地域が、成長軌道に戻るとした。

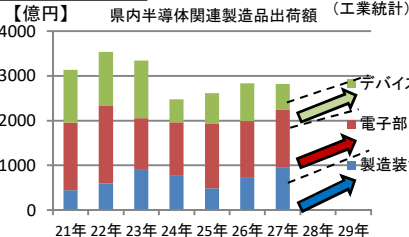
■国内の半導体製造装置市場の動向  
 ○ファウンドリやロジックメーカの投資継続に加えて3D-NAND向け投資、DRAM向け投資を見込み、成長の継続が見込まれる。(日本半導体製造装置協会(SEAJ))



## 2 H21以降の県内半導体関連産業の状況

■産業全体の動向  
 ○車載用半導体やファウンドリが堅調であるほか、IoTの進展に伴うデータセンター向けサーバーの需要増等により、半導体需要が増大したため、半導体製造装置についても盛況に推移し、全体として、受注企業まで波及している状況。  
 ○県内経済や雇用の面で地域における産業の存在感は依然として、高まっている。

■主要企業の動向  
 ○H29.6 デンソー岩手 センサーの生産開始  
 ○H29.9 東芝メモリ 北上立地決定  
 ⇒拠点機能強化につながる動きが各社で進行



## 3 I-SEP設立9年の振り返りと平成30年度の事業イメージ

区分	事業名	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
取引拡大	川上企業が中核となる分科会活動の展開(メンテ研合)										★	
	半導体製造装置メンテナンス参入研究会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	→	
	専門展示会への出展	セミコン・ジャパン出展支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		P V E X P O出展支援										
		ネブコンジャパン出展支援							○	○	○	○
		機械要素技術展出展支援									○	○
	新産業セミナー	○	○									
	企業内覧会等の開催	○		○								
	専門勉強会の開催				○							
	新技術・新工法展示商談会					○						
専門コーディネーターによる技術等支援				○	○	○	○	○	○	○	◎	
マッチング交流会									○	○	◎	
技術出張展示会出展支援									○	○	◎	
連携交流	総会・講演会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	半導体の業界動向に関するセミナーの開催										★	
	企業マップの発行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	→	
	ホームページ、メールマガジンによる情報発信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	→	
	川上川下企業交流会	○	○	○	○							
	異業種交流セミナー									○	○	
	先進地区との交流										◎	
	大分県LSIクラスターとの連携						○	○	○	○	◎	
	山形県内の地域活用プロジェクトとの連携									○	◎	
	海外展開可能性調査						○				○	
東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センターとの連携									○	◎		
人材育成	半導体関連産業の人財育成講座開設										★	
	半導体基礎講座		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	半導体応用講座									○	○	
	半導体関連企業技術者勉強会								○	○	○	
	大学・高専等のシース発表会								○	○	○	
	いわてマイスター事業との連携								○	○	◎	
	MIUカフェを活用した産学連携PR									○	◎	
企業・業界PR								○	○	◎		
企業見学会								○	○	◎		

### <目指す姿>

- 情報と技術を岩手に集積！
- 高度な人材を岩手で育成！
- オール岩手で全国へ、世界へ！

取組年度  
H30～H32

### 方向性

既存取組(◎拡充、○継続、△縮小) ★新取組

### 目標設定

- ★川上企業が中核となった新たな分科会  
 ⇒メンテナンスマン研究会からの成果創出
- 大規模専門展示会出展による取引拡大
- ◎発注企業と受注企業のマッチング交流・取引支援

活動目標	H30～H32
シーズニーズ提案件数	30件/年
新規取引件数	25件/年

### <重点事項1>

取引拡大  
(ひろげる)

- 民主導の提案型活動をベースに、取引の活性化や幅広い分野での成功事例創出を促進。
- 川下企業と川上企業とが良きパートナーとなり、連携して新たな市場の創造と取引拡大の可能性を追求。
- コーディネート機能を強化し、新たなビジネスの芽づくりを推進。

### <重点事項2>

連携交流  
(よくする)

- 会員の相互理解を一層深め、新たなビジネス創出の土壌を形成。
- 海外や先進地域との交流等を通じて、新たなビジネスに繋がる各種情報の収集・発信を強化。
- 成長産業・応用分野等と積極的に連携し、裾野拡大を視野に活動を展開。

- ★半導体の業界動向に関するセミナーの開催
- 岩手県半導体関連企業マップの作成や情報発信
- 先進地域との連携交流
- 海外展開可能性等の調査検討
- 応用分野等を対象とした新たな連携交流
- 会員の相互理解を深める交流促進
- ◎岩手大学、東北大学等との連携

活動目標	H30～H32
交流会等開催回数	5回/年
交流会等参加企業数	200社/年(延べ)

### <重点事項3>

人材育成  
(そだてる)

- 産学官が連携・協力し、半導体・電気・電子分野を中心としたものづくり分野における未来を担う人材の確保・プロフェッショナル人材の育成。
- 産学交流や企業交流の実践の場を通じて、コーディネート人材や次世代の地域産業のリーダー人材を育成。

- ★半導体関連産業の人財育成講座開設
- 半導体応用講座等の専門講座
- 大学・高専等のシース発表会
- △企業人材を活用した学生教育等
- ◎大学生の企業見学会や企業業界PR

活動目標	H30～H32
イベント等参加企業数	70社/年(延べ)
イベント等参加学生数	300人/年(延べ)

### 推進方策

- ・企画部会による各種企画提案の実施。
- ・外部資金の活用も図りながら、各部会の事業の充実・強化。